合計表の【給与所得の源泉徴収票を提出するもの】について

(画面例はすべて『PCA 給与 DX システム B』を使用しています)

合計表の【給与所得の源泉徴収票を提出するもの】の人数は、源泉徴収票を税務署に提出する人数です。 年末調整計算時、支払金額、年末調整区分(年末調整をするかどうか)、在職区分、役員区分、災害者 区分、税区分によって自動判定をしており、合計表提出区分が「提出する」に判定された社員の人数に なります。自動判定の詳細は以下の通りです。

チェック内容	自動変更される内容
パターン①	
・年末調整する	
• 役員	
・給与等の支払金額が150万円を超える	
パターン②	
・年末調整する	
・役員ではない	
・給与等の支払金額が500万円を超える	
パターン③	
・年末調整しない	
・退職者 または 災害者	
• 役員	
・給与等の支払金額が50万円を超える	合計表提出区分を「提出する」に自動変更
パターン④	
・年末調整しない	
・退職者 または 災害者	
・役員ではない	
・給与等の支払金額が 250 万円を超える	
パターン⑤	
• 年末調整しない	
• 税区分が乙欄	
・給与等の支払金額が50万円を超える	
パターン⑥	
• 年末調整しない	
・給与等の支払金額が 2000 万円を超える	
上記パターン①~⑥に当てはまらない場合	合計表提出区分を「提出しない」に自動変更

【参考】

合計表資料の画面出力で「源泉徴収票を提出するもの」に該当する社員の確認ができます。

【操作手順】

- ①「年末調整」-「合計表・総括表資料」を起動すると[条件指示]画面が表示されます。
- ② 出力の種類で [画面]、帳票の選択で [合計表資料] を選択し、[画面出力] ボタンをクリックします。



③ [内訳表示] ボタンをクリックし、[源泉徴収票を提出するもの] タブをご確認ください。

